

(仮称)西公園屋内遊び場 基本計画の骨子

令和7年7月
仙台市

目次

1. 策定趣旨
 2. 整備計画地
 3. 施設整備方針 基本理念/コンセプト/主な利用者/基本的な機能/主なアクセス環境
 4. 施設計画 配置計画・ゾーニング/施設規模/施設イメージ/諸室の機能構成
 5. 整備計画 整備手法/整備期間/概算整備費
 6. 運営計画 運営手法/利用情報
- 【参考資料】 WEBアンケート結果(速報)

1. 策定趣旨(1／3)

- こどもにとっての遊びは、他者への思いやりや自尊心、やり抜く力等の非認知能力を養うとともに、多様な体の動きを身に着けていくなど、健やかな成長の原点といえます。
- 本市ではこれまで、「遊びの環境の充実」に向けた様々な取組を進めてきたところです。
- 本年3月に策定した「せんだいこども若者プラン2025」においても、前計画から引き続き「遊びの環境の充実」を基本施策に位置付けています。

【せんだいこども若者プラン2025における位置づけ】

■ 基本理念

こども・若者が自分らしく幸せに生きられるまち
みんなで支える子育てが楽しいまち 仙台

- 基本的な視点2 こども・若者の成長を支える取り組みの充実と、安全・安心な環境の確保
- 施策体系(1) 可能性を広げる教育と体験の場・遊びの環境の充実
- 基本施策⑤ 遊びの環境の充実

1. 策定趣旨(2／3)

- 子どもの遊び場については、公園や児童館、のびすくなどの整備を進めてきたほか、既存資源の遊び場としての活用や、子どもの自由で自発的な遊びを引き出す遊び場であるプレパーク活動の普及・展開を行ってきました。
- こうした中、天候に関わらず遊ぶことができる遊び場を求める声が増えるなど、大型の屋内遊び場への関心の高まりが認められました。
- 本市では、本年3月に「遊びの環境の充実に向けた取組方針」を策定しました。この取組方針では、自然と都市機能が調和する本市の都市個性を最大限に生かしながら、子どもが様々な遊びに触れることができる環境づくりを進めることとしています。
- 西公園への屋内遊び場の整備は、その取組の一環として実施するものです。

【仙台市遊びの環境の充実に向けた取組方針における位置づけ】

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| ■ 基本理念 | 都市個性を生かした、子どもの育ちと子育てを支える遊びの環境の充実 |
| ■ 基本的な視点2 | 多様な主体との連携や都市資源を活用した遊びの充実 |
| ■ 基本的な視点3 | 都市の魅力を向上させる遊び空間の充実 |
| ■ 主な取組6 | 大型の屋内遊び場の整備 |

1. 策定趣旨(3／3)

- 今年度は、西公園への屋内遊び場の整備に向けて、「(仮称)西公園屋内遊び場基本計画」(以下「基本計画」という。)の策定を行います。
- 基本計画では、施設のコンセプトや機能、整備手法など、施設整備に関する基本的な事項を、総合的に定めます。
- 策定にあたっては、施設に関するアンケートの実施やシンポジウムの開催、基本計画案に対するパブリックコメントの実施などを通して、市民の皆様をはじめ、多様な方々からご意見を伺いながら進めています。
- この「基本計画の骨子」は、今後、より丁寧に基本計画の策定を進めていくために、基本計画案を策定する前段として、施設整備の方向性などに関する本市の考え方をまとめたものです。

(参考)「仙台市遊びの環境の充実に向けた取組方針(令和7年3月策定)」より

■ 屋内遊び場の整備についての考え方

- 子どもの遊びを取り巻く環境の変化に対応し、遊び場に対する子育て家庭の多様なニーズに応えることは、子どもの健やかな成長を支えるとともに、「子育てが楽しいまち・仙台」の実現を図る上でも重要であることから、大型の屋内遊び場についても整備が必要である。
- 整備に取り組む上では、児童館やのびのびと、多様な社会教育施設、近隣自治体の大型の屋内遊び場等との役割の違いなども考慮しながら、都市個性や都市の魅力を生かした、仙台らしい取組としていくことが重要となる。

■ 施設の目指す姿

- 仙台市の魅力である豊かな自然を活用した遊びなど、屋外の遊びと連続性をもった遊びが可能となる施設
- 子どもの育ちの観点から、遊びを通じて多様な体験の創出や学びにつながる施設
- 本市の遊び場を象徴し、市全域からの利用を見込む施設
- 社会全体で子ども・子育てを応援する気運を醸成するために、子育て家庭に限らず、多様な人が訪れる機会の創出につながる施設
- 公共交通機関によるアクセスの利便性が高いことに加え、車で移動する子育て家庭も多いと見込まれることから、一定規模の駐車場を備えた施設
- 施設の整備にあたっては、市民の様々な声を参考にしながら、多くの子どもたちが楽しめる施設

⇒ 西公園南側区域の多目的広場が計画地として最も適すると判断

2. 整備計画地(1/4)

■ 敷地の概要

西公園南側区域、現在の
多目的広場に整備を行います。



■ 敷地の現況

所 在 地	仙台市青葉区桜ヶ岡公園2番1(地番)
敷 地 面 積	約4,000m ² (多目的広場)
土 地 所 有 者	仙台市
現 在 の 用 途	西公園内の多目的広場(遊び場・イベント会場等として使用)

2. 整備計画地(2/4)

■ 敷地の主な法的規制

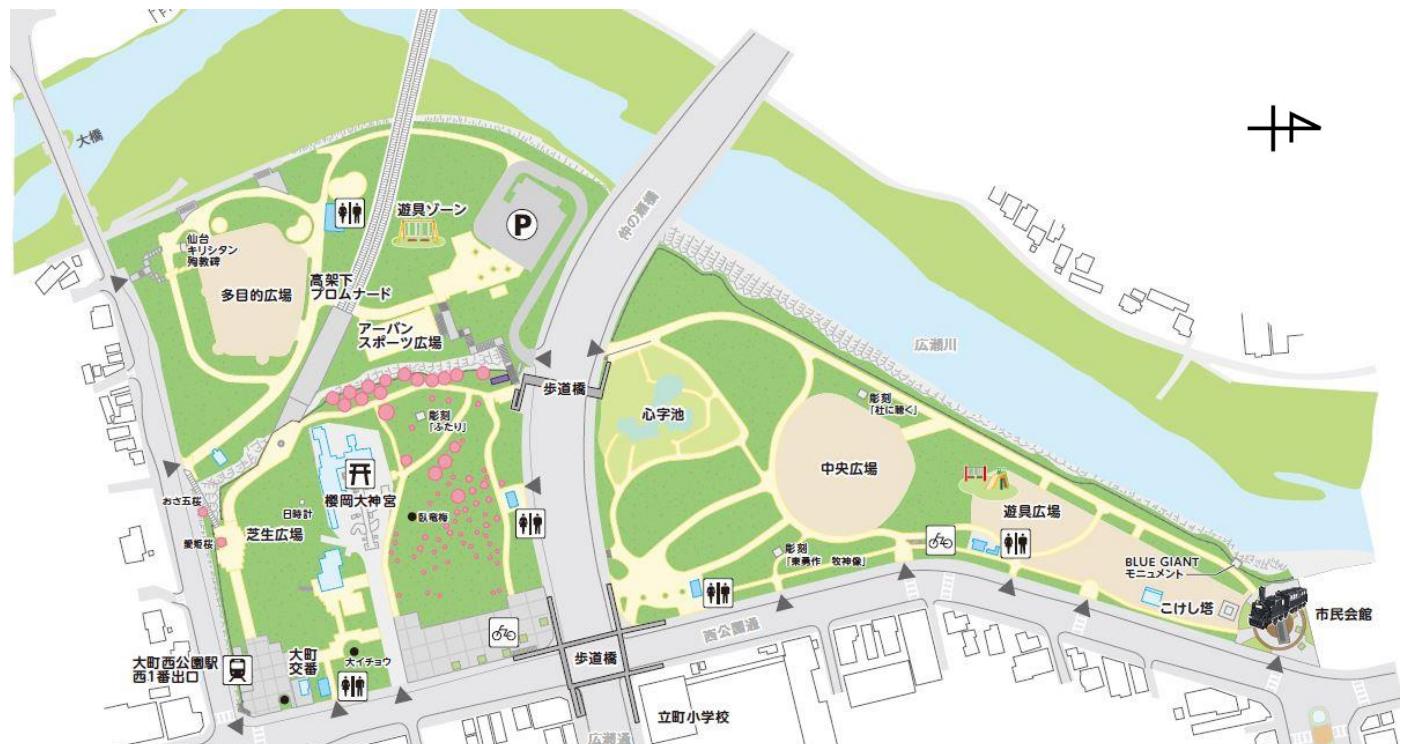
都市計画法	用途地域	第二種住居地域
	建ぺい率	60%
	容積率	200%
	高度地区	第3種高度地区
	地区計画等	なし
仙台市都市公園条例	公園施設の設置基準(建築面積等)に関する規定	
景観法・仙台市「杜の都」景観計画	景観計画区域:河川・海岸地ゾーン	
文化財保護法	埋蔵文化財包蔵地	
広瀬川の清流を守る条例	第一種環境保全区域 (高さ制限20m以下、保全用地、外観、その他の規定あり)	
杜の都の環境をつくる条例	保存樹林(ヒマラヤシーダー)	

2. 整備計画地(3／4)

■ 西公園における位置づけ

- 「西公園再整備基本構想」では、整備計画地を含むエリアを「あらゆる世代の市民だれもが楽しめる緑の芝生が広がるレクリエーションエリア」として計画し、現在整備を進めています。
- 西公園への本施設の整備により、以下の効果が期待できます。
 - ・「遊具ゾーン」や「アーバンスポーツ広場」と合わせて公園の遊びの機能の強化のほか、家族連れの来訪による賑わいの創出
 - ・屋内の拠点施設が公園にできることによる、年間を通した公園利用の促進
 - ・本市全域及び県内外からの利用者の来訪や、インクルーシブ遊具やアーバンスポーツを目的とした利用者など様々な公園利用者による交流の促進

【西公園再整備計画図】



2. 敷地の特性(4/4)

■ 敷地の特性

外遊びとの連続性	<ul style="list-style-type: none">計画地の北側に隣接するエリアにおいては、「遊具ゾーン」としてインクルーシブ遊具の整備や、「アーバンスポーツ広場」の整備が予定されています。計画地に接する広瀬川河川敷は、せせらぎ水路が整備されており、水遊びなどが可能な親水空間となっています。
遊びとの親和性	<ul style="list-style-type: none">西公園の北側区域では、長年にわたりプレーパーク活動が展開されているなど、子どもの遊び場として親しまれています。計画地の北側には地下鉄東西線の高架橋の下部を活用したプロムナードが整備されているほか、間近を走る地下鉄を見ることができます。計画地は市民プールの跡地であり、かつて多くの子どもたちが訪れていたエリアです。
周辺の施設等との連携の可能性	<ul style="list-style-type: none">青葉山エリア等における様々な周辺の施設との連携等により、遊び、文化芸術、災害文化、歴史、学問、自然を組み合わせた、多様な体験の創出の可能性があります。西公園におけるイベント等との連携の可能性があります。
まちづくりとの親和性	<ul style="list-style-type: none">多くの子育て家庭が訪れる事になる本施設は、市中心部と青葉山エリアの回遊性向上に資する賑わいの創出や、交流人口の拡大につながるものです。隣接する青葉通・大町周辺や、西公園の北側区域を介した定禅寺通におけるまちづくりとの連携の可能性があります。

3. 施設整備方針(①基本理念)

広がる遊びと、かがやく子どもの未来 ～笑顔あふれる杜の都の遊び場～

- 遊びは子どもの成長の原点といえるものであり、遊びの環境の充実は、子どもの豊かな育ちに欠かせないものです。
- 本施設は、本市における、遊びの環境の充実に向けた取組の中で、大きな役割を果たすものです。
- 多様で自由な遊びが広がり、それが、子どもの健やかな成長を支え、子どもたちの明るい未来を広げることにつながる施設となることを目指します。
- 加えて、立地場所である西公園は、本市の豊かな自然を象徴する広瀬川が近くを流れるとともに、都心部と青葉山エリアという、本市の都市個性が際立つ魅力あるエリアの結節点にあり、「杜の都」を象徴する場所であるといえます。
- 仙台らしさを感じられるこの場所で、屋内と屋外で連続性を持った遊びや、周辺施設と連携した多様な体験や学びが創出され、子どもたちを中心に、笑顔があふれる遊び場となることを目指します。

3. 施設整備方針(②コンセプト(1／2))

● 遊びが広がる施設

- ・ 空間を面的に生かして、スペース全体を自由に駆けたり、跳ねたり、登ったりといった大きな動きや多様な運動が可能な空間や遊具を整備します。
- ・ エリア内に大型の遊具が整備されることや、近くを広瀬川が流れるといった立地上の特性を最大限に生かすために、屋内と屋外の連続性を意識することで、屋外での遊びを楽しむことにもつながる施設とします。
- ・ 遊びを通して得られることもの成長機会を大切にします。発達段階に応じた遊具をバランスよく配置するほか、決まった遊び方ではなく、成長に伴い遊びが変化する遊具や、利用目的に応じてレイアウトを変更することができる可動性の高い遊具の整備を進めます。
- ・ こどもの多様な興味や関心に対応し、年齢や発達段階、障害の有無にかかわらず、多くのこどもたちが自分らしく遊ぶことができる施設とします。

● 体験や学びの機能を重視した施設

- ・ 季節ごとの体験プログラムなど、体験や学習の機会につながるソフト事業を実施していきます。
- ・ 多様な活動に対応可能なスペースを整備するほか、学校等の団体利用に対応するプログラムを創出していきます。

3. 施設整備方針(②コンセプト(2/2))

● 親や同伴者も満足できる施設

- ・安全に遊ぶことができる適切なスペースや、死角の少ない見通しのよい空間を確保します。また、遊びに関する専門知識をもつスタッフを配置した施設運営を行います。
- ・子育てに関する情報提供や、周辺施設との連携事業など、親子で楽しめる取組を実施していきます。

● 仙台らしさを感じられる施設

- ・仙台中心部からの優れたアクセス性を有する自然豊かな都市公園で、こどもたちが遊びながら過ごす時間を通じて、仙台らしさを感じられる施設とします。
- ・本市の遊び場を象徴し、市全域からの利用を見込むことのできる施設整備を行うほか、本市が推進してきたプレーパーク活動の積極的な情報発信などを通して、遊びの拠点としての機能を担う施設とします。

● 多様な人が訪れることができる施設

- ・本施設を利用する方のほか、公園を利用する方の利便性の向上につながる機能や設備を備えた施設とします。
- ・都心部と青葉山エリアの回遊性向上に資する賑わいの創出や、アクセス環境の整備を行うことで、子育て家庭のみならず、多様な人が訪れ、こども・子育てを身近に感じることができる施設とします。

3. 施設整備方針(③主な利用者)

- 本施設は、こどもたちに遊びを通じた健やかな成長の機会を提供するための施設です。想定する主な利用者は、遊びを通して、発達の基盤を築くことが特に求められるとされる「乳幼児から小学生」とします。
- こどもの同伴者として一緒に施設を利用する子育て世帯や保護者の利用意向にも応えるほか、多くの人が利用したり、訪れるこことできる設備や機能についても検討していきます。

3. 施設整備方針(④基本的な機能(1／2))

機能	概要
身体活動や運動能力を育む機能	<ul style="list-style-type: none">大きな動きや多様な運動を引き出す空間や遊具安全への配慮や休息スペース
創造性や表現力を育む機能	<ul style="list-style-type: none">こどもが主体的に遊ぶことのできる自由度の高い空間創作活動が可能な空間自然を活用した工作活動やイベント・ワークショップ
知的好奇心や探求心を育む機能	<ul style="list-style-type: none">自然遊びなどの外遊びにつながるゾーニングや空間絵本・図書コーナー
社会性や協調性を育む機能	<ul style="list-style-type: none">年齢や発達に対応したゾーニング異年齢が交流できる空間
体験や学びの機能	<ul style="list-style-type: none">多目的スペース、展示や情報発信スペース自然や季節を感じられるイベントやワークショップ青葉山エリアの各施設等との連携した企画
インクルーシブな機能	<ul style="list-style-type: none">ユニバーサルデザイン車いすやベビーカーでスムーズに移動できるスロープやエレベーター静かにクールダウンできる空間

3. 施設整備方針(④基本的な機能(2/2))

機能	概要
遊びの拠点機能	<ul style="list-style-type: none">・地域の身近な遊び場である児童館との連携した取組・市内プレーパークとの連携や、関連事業に関する情報発信
快適性や利便性に関する機能	<ul style="list-style-type: none">・飲食可能な休憩スペース・軽食や飲み物等の販売
衛生面に関する機能	<ul style="list-style-type: none">・授乳室・多目的トイレ・おむつ交換台・手洗い場や着替え場所
安全性に関する機能	<ul style="list-style-type: none">・同伴者やスタッフが子どもを見守りやすい配置・死角の少ない空間
収納に関する機能	<ul style="list-style-type: none">・コインロッカーや荷物置き場・ベビーカー置き場・下足箱
持続可能性に関する機能	<ul style="list-style-type: none">・環境負荷の低減・長寿命化への配慮・ライフサイクルコストの低減

3. 施設整備方針(⑤主なアクセス環境)

● 地下鉄大町西公園駅からの歩行者のアクセス

地下鉄東西線大町西公園駅から徒歩圏内にあるという利点を最大限に生かすことが重要です。駅から施設までの歩行者の動線について、西公園上段の芝生広場から本施設に接続する連絡橋を設置するなど、バリアフリー化を図るとともに、本施設に向かう子どもの期待感を高める視点も持ちながら、高低差に対応したアクセス環境の向上につながる対応を検討します。

● 車のアクセス

子育て家庭が外出する際の移動手段に関する実態等を踏まえると、車による来館も多く見込まれます。計画地の北側では、西公園再整備事業において、平面駐車場(普通自動車約65台収容)を整備することとしていますが、本施設の整備に伴い、来館者が多くなることが想定される週末などには、駐車場の不足が見込まれます。そのため、周辺の交通量への影響なども調査しながら、立体駐車場を整備するなど、駐車台数の増大に向けた対応策について検討を行います。

● 団体利用者(バス)のアクセス

平日においては、子育て家庭による利用は少なくなることが見込まれるため、幼稚園や保育園などによる団体での利用を促進することが重要となります。団体での利用は、バスでの来館が想定されることから、複数台のバスが円滑に本施設にアクセスできる環境と、バスからこどもたちが安全に乗降できる環境の整備について検討を行います。

4. 施設計画(①配置計画・ゾーニング(1/2))

【西公園南側区域下段エリア】



- 施設整備方針等を踏まえた、整備計画地における施設の配置やゾーニングのイメージは、左図のとおりです。

※ 現時点で想定される案の例示であり、詳細は今後検討していきます。

4. 施設計画(①配置計画・ゾーニング(2/2))

【西公園南側区域下段エリア(整備計画地周辺)】



- 施設整備方針等を踏まえた、整備計画地における施設の配置やゾーニングのイメージは、左図のとおりです。

※ 現時点で想定される案の例示であり、詳細は今後検討していきます。

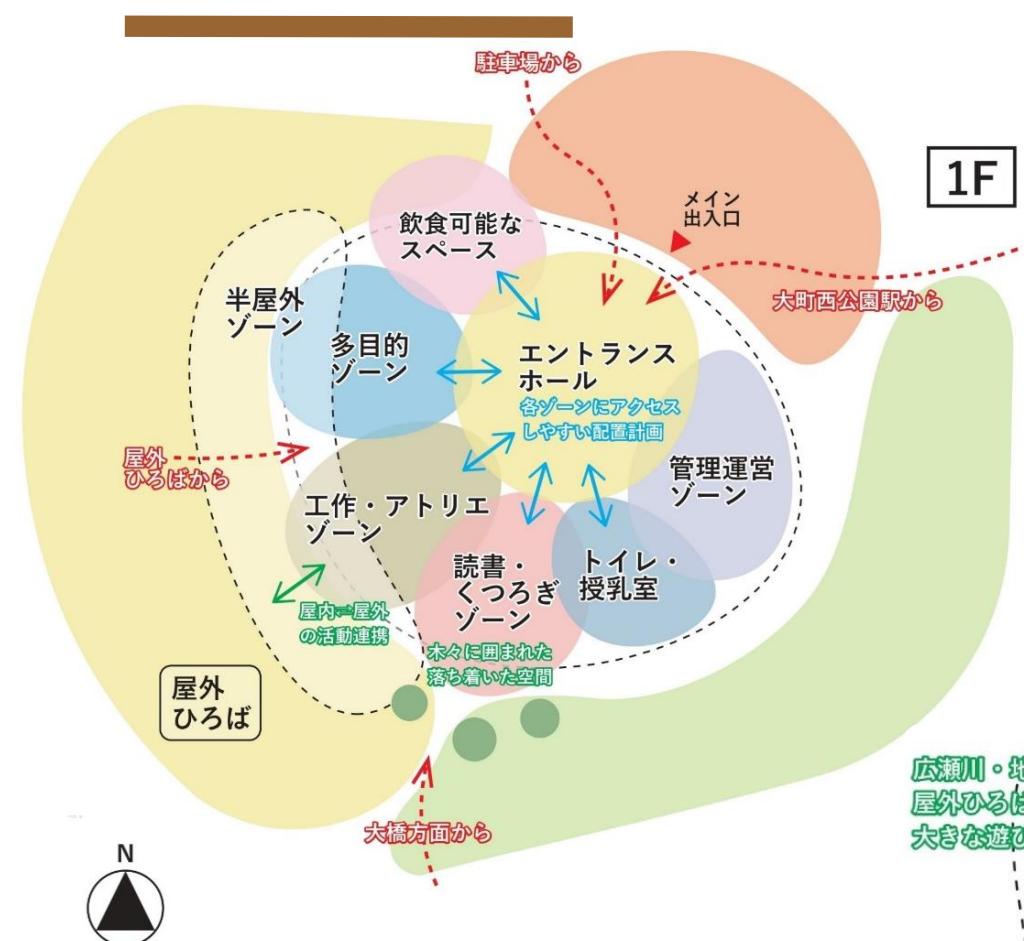
4. 施設設計画(②施設規模)

- 遊びのエリアに加えて、施設として必要な機能も考慮すると、下表のとおり現時点で想定する施設の規模は延床面積約3,200m²となります。

※ 現時点の想定に基づくものであり基本計画の策定を通じて今後精査します。

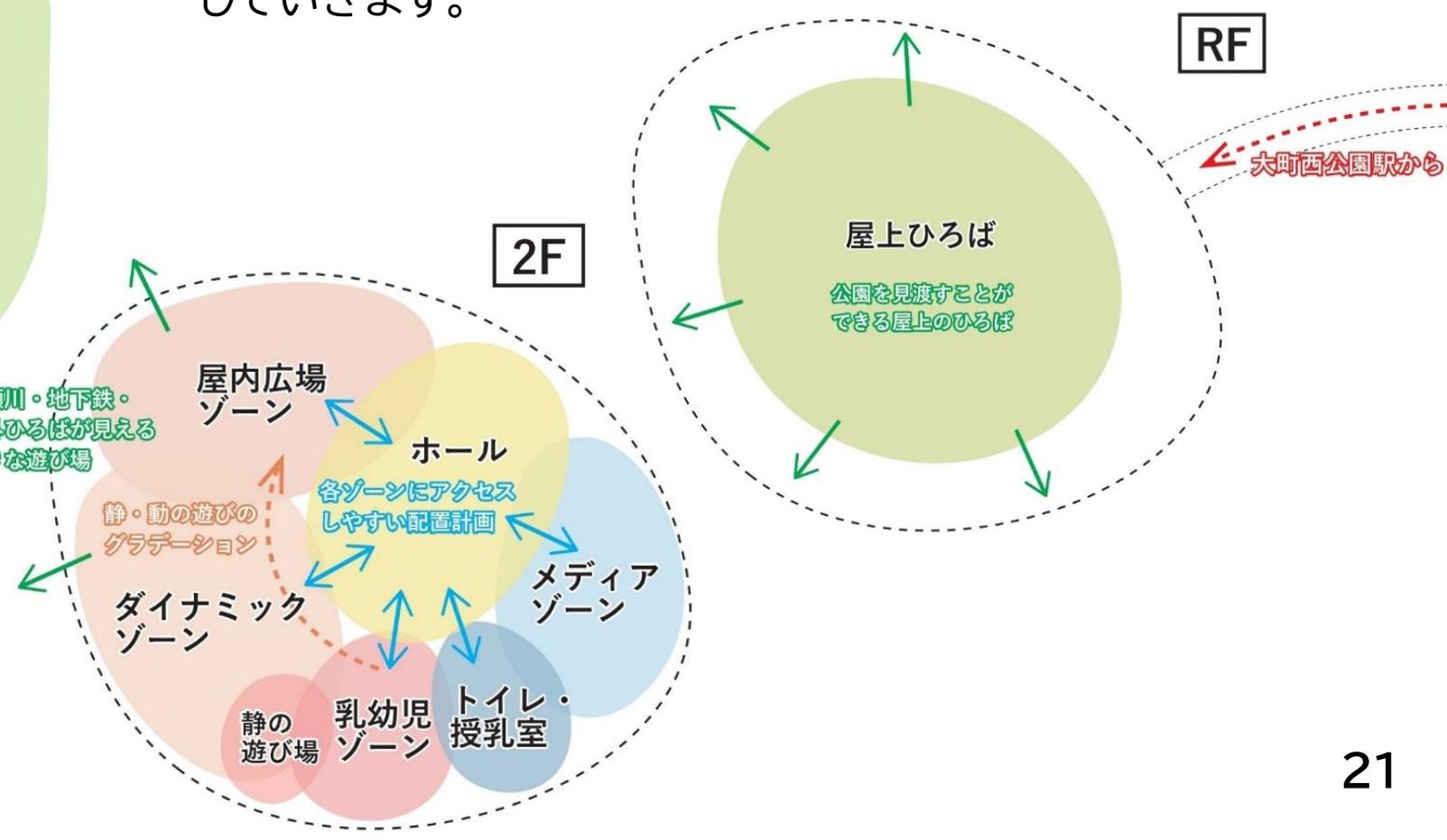
No.	区分	想定延床面積	主なゾーニング・諸室の例
1	遊びのエリア(屋内)	約1,600m ²	屋内広場ゾーン ダイナミックゾーン 工作・アトリエゾーン 読書・くつろぎゾーン 乳幼児ゾーン メディアゾーン
2	遊び以外のエリア(屋内)	約1,200m ²	多目的ゾーン エントランスホール 飲食可能なスペース トイレ・授乳室、管理運営ゾーン 等
3	遊びのエリア(半屋外)	約400m ²	半屋外ゾーン
		約3,200m ²	

4. 施設設計画(③施設イメージ)



- 施設整備方針等を踏まえた、施設内の諸室配置や施設へのアプローチの例は図のとおりです。

※ 現時点では想定される案の例示であり、詳細は今後検討していきます。



4. 施設計画(④諸室の機能構成(1／6))

● ゾーン構成の例

1. 屋内広場ゾーン

- ・広々とした空間
- ・思い切り体を動かす遊び場

2. ダイナミックゾーン

- ・全身を使うダイナミックな遊び場

7. 乳幼児ゾーン

- ・乳幼児が安全に過ごせる空間

5. 読書・くつろぎゾーン

- ・静かなスペース
- ・保護者との休息時間

8. メディアゾーン

- ・映像設備等による様々な遊びや活動ができる空間

6. 多目的ゾーン

- ・ワークショップ、イベントなど

4. 工作・アトリエゾーン (屋内～半屋外)

- ・創造的な活動ができるスペース

3. 半屋外ゾーン

- ・自然遊びや外遊びができる空間

屋内

屋内・半屋外

屋外

4. 施設計画(④諸室の機能構成(2/6))

1. 屋内広場ゾーン

広々とした空間で思い切り体を動かすことができる遊び場。様々な種類の遊び道具やシンプルな遊具を計画し、自由度の高い使い方が可能なものとします。

【イメージ※類似施設の事例より】



広々とした運動空間(出典元:(株)関・空間設計)



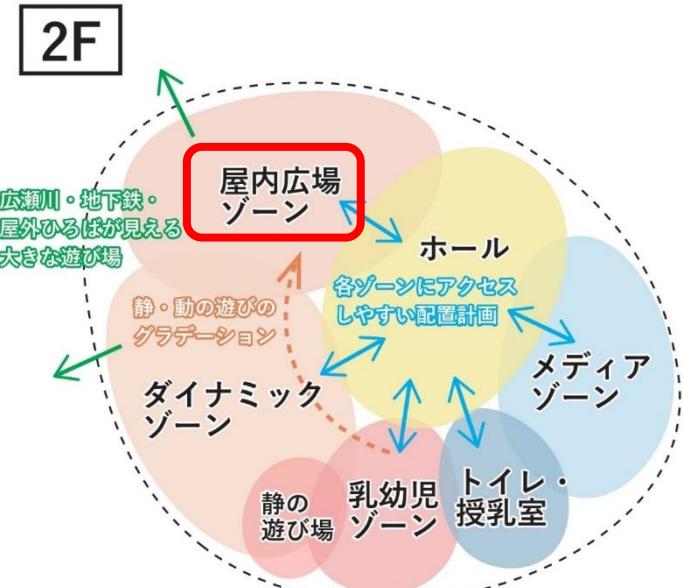
全身のバランス感覚を養う運動遊具
(出典元:(株)ボーネルンド)



屋内でボール遊びができる空間
(出典元:(株)ボーネルンド/Hiタッチらんど・ハレニコ！(茨城県日立市))



バランス遊びができる遊具(出典元:(株)ボーネルンド)



4. 施設計画(④諸室の機能構成(3／6))

2. ダイナミックゾーン

全身を使うダイナミックな遊びができる場所。魅力的な遊具によって
楽しく運動ができるような場所とします。

落ち着いた空間を隣接させて、静と動の遊びの循環が可能なゾーニングとします。

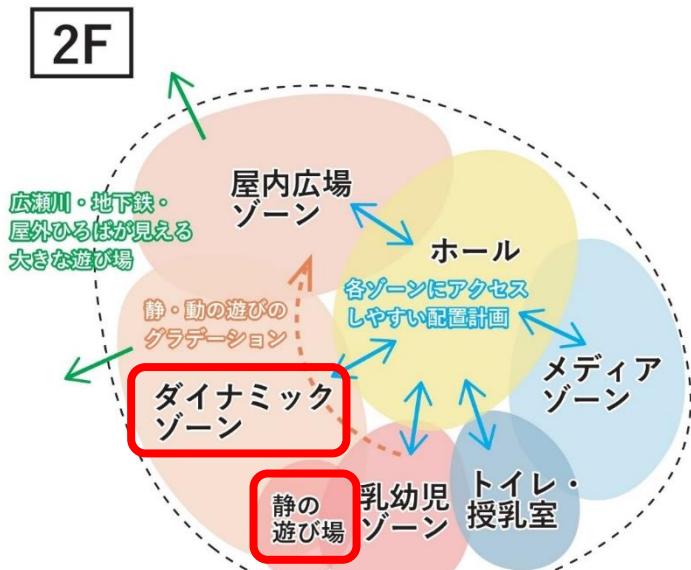
【イメージ※類似施設の事例より】



滑り台やボルダリング等が一体の遊び場
(出典元:都市デザインワークス/copal(山形県山形市))



ボルダリング機能を複合した遊具
(出典元:(株)ボーネルンド/
BOAT KIDS PARK モーヴィ まるがめ(香川県丸亀市))



4. 施設設計画(④諸室の機能構成(4／6))

3. 半屋外ゾーン

天候にかかわらず、自然遊びや外遊びができる場所。本施設と公園や広瀬川との遊びの連続性が実現できるような空間とします。

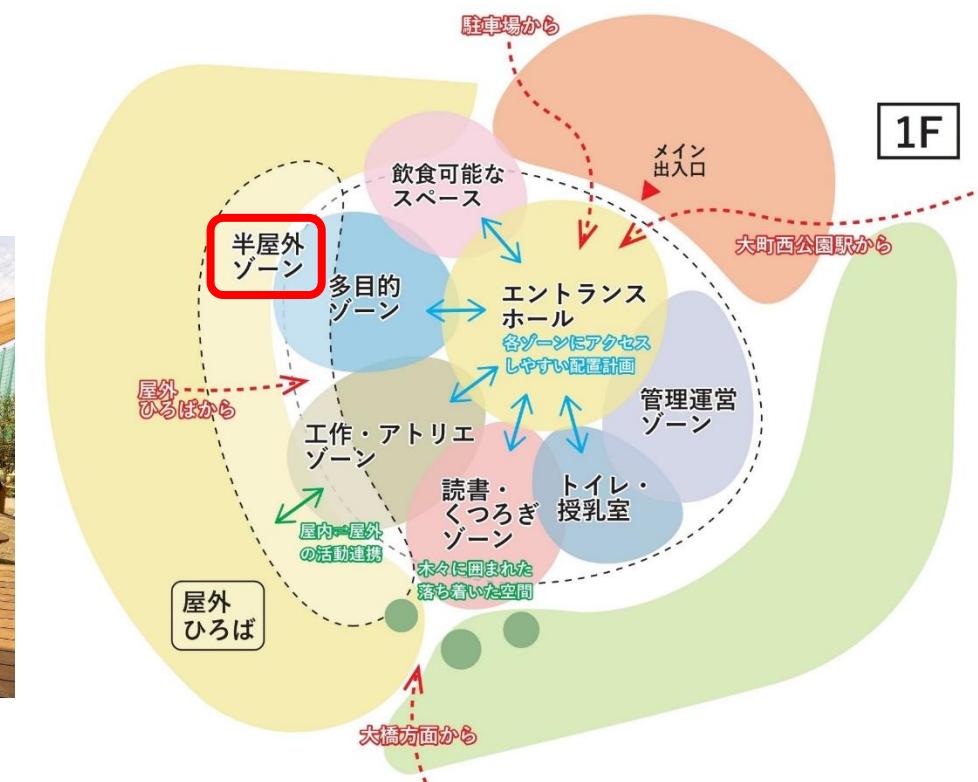
【イメージ※類似施設の事例より】



屋内と屋外の連続性がある屋根下空間
(出典元:(株)ボーネルンド)



直射日光を避けた遊びの空間
(出典元:(株)ボーネルンド/
BOAT KIDS PARK モーヴィ とこなめ(愛知県常滑市))



4. 施設計画(④諸室の機能構成(5／6))

4. 工作・アトリエゾーン

木工や絵画など、手を動かす創造的な活動ができるゾーン。
室内活動のほか、屋外での工作活動も行えるようにします。

5. 読書・くつろぎゾーン

子どもたちが本に触れられる、落ち着いて読書ができるゾーン。
休息や静かな遊び、何もしない場としても利用できます。

6. 多目的ゾーン

子どもたちに加えて保護者や市民の方が利用したり、交流できる場所。

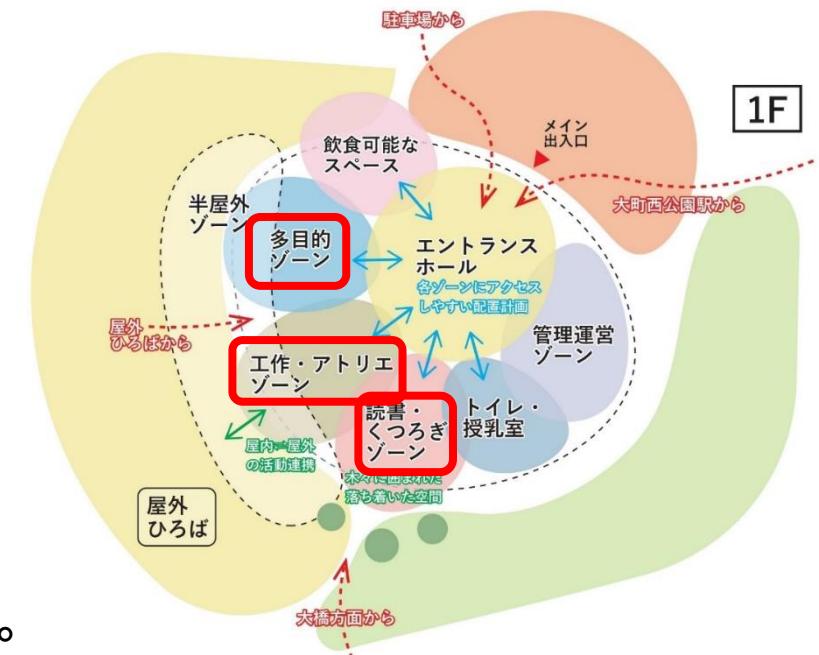
【イメージ※類似施設の事例より】



複数人で行う創作活動
(出典元:(株)ボーネルンド)



リラックスした姿勢で過ごせる読書コーナー
(出典元:(株)ボーネルンド/あそびのにわ(埼玉県久喜市))



様々な人々の交流が可能な場所
(出典元:(株)ボーネルンド)

4. 施設計画(④諸室の機能構成(6/6))

7. 乳幼児ゾーン

乳幼児が安全に過ごせるゾーン。
保護者の交流の場としても活用可能な空間とします。

8. メディアゾーン

映像やデジタル機器による遊びや学び等、多種多様な活動や遊びができる場所。

【イメージ※類似施設の事例等より】



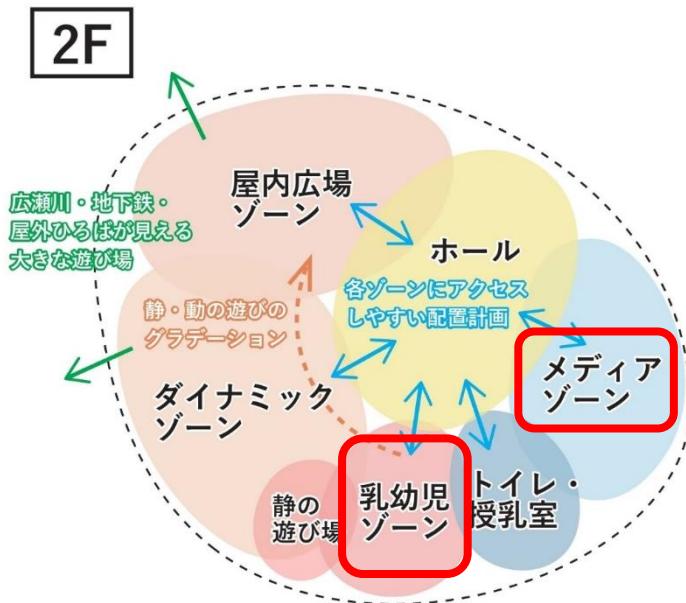
床面が柔らかく安心できる空間
(出典元:株ボーネルンド)



多様な動きを体験できるボールプール
(出典元:株ボーネルンド)



デジタル遊具を使った遊び
(※生成AIにより作成)



5. 整備計画(①整備手法)

- 従来型の分離発注方式に加え、DB方式やPFI方式等、幅広い整備手法がある中で、今回の施設整備に最適な手法について検討を行います。
- 検討にあたっては、標準的な全体工期から、各工程における期間短縮の可能性、発注に要する準備期間等も考慮に入れ、早期整備の実現を目指します。

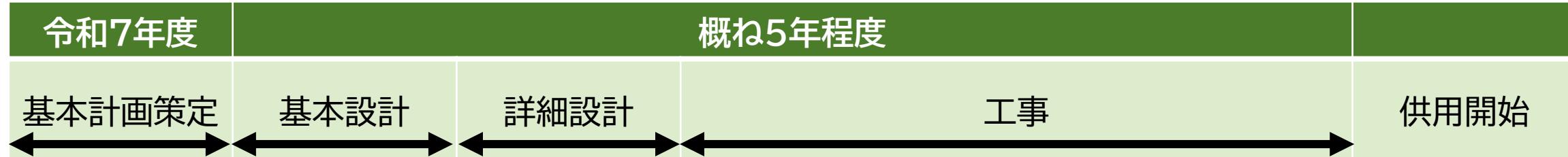
【主な整備手法と概要】

発注方式	従来型(分離発注方式)	DB(デザインビルド方式)	PFI方式
概要	基本設計、実施設計、施工を個別に発注する方式	設計と施工を一括して発注する方式 ※基本設計のみ個別に発注することも可能	民間事業者が資金を調達し、設計と施工のほか、維持管理・運営も委託する方式
発注形態	仕様発注	性能発注	性能発注
特徴	品質が確保しやすい。 コストへの競争原理が働きやすい。	全体工期の短縮が図られやすい。 一括化によるコスト効率が良くなりやすい。	民間ノウハウの活用による効率的な整備が期待できる。

5. 整備計画(②整備期間)

- 従来型の分離発注方式による同規模の施設整備を行った場合、標準的な整備期間は概ね5年程度となります。(基本計画策定期間を除く。)

【標準的な整備工程(従来型の場合)】



- そのうえで、本施設は日々成長するこどものための施設であることを踏まえて、可能な限り早期の供用開始を目指していきます。
- 早期整備の実現にあたっては、整備手法のほか、効率的な設計及び施工手法の検討に加えて、関連する法規制や許認可手続きへの対応を着実に進めていきます。

5. 整備計画(③概算整備費)

- 概算整備費については、今後、基本計画において、本体施設の規模や配置、動線計画等を整理するなかで算出を行うとともに、国の交付金など活用可能な財源についても併せて検討していきます。
- 施設や外構工事のほか、遊具・備品の調達、アクセス環境向上への対応、文化財調査等に要する整備費が発生します。

6. 運営計画(①運営手法)

- 本施設の基本理念やコンセプト、基本的な機能を実現するためには、施設のハード面だけでなく、運営面での魅力の創出・向上という観点が重要となります。
- 管理運営の範囲についても、本施設のほか、施設周辺の遊具ゾーンやアーバンスポーツ広場などを一体的に実施する手法が考えられます。
- 管理運営の範囲や手法の詳細については、引き続き検討を進めていきます。

6. 運営計画(②利用情報)

● 開館日・開館時間

- ・アンケートによる子育て世帯の利用意向や、運営に要する費用、他都市の類似施設への調査の結果などを踏まえて、今後検討していきます。

● 定員

- ・施設規模に対しての、利用者の安全性・快適性の確保や、他都市の類似施設への調査の結果などを踏まえて、定員制の導入の有無や、定員を設ける場合の人数について、今後検討していきます。
- ・定員制を設ける場合は、施設利用のための事前予約制の導入についても検討を行います。

● 年間想定来場者数

- ・上記の開館日・開館時間、定員の検討と合わせて、年間想定来場者数についても算出を行っていくこととします。

● 利用料金

- ・利用料金のあり方については、保護者向けのアンケートのご意見などを踏まえるとともに、魅力的な施設として持続可能な運営を図る視点や、子育て家庭の方が利用しやすい環境を整える視点などから検討を行っていきます。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

● アンケートの概要

項目	内 容
期 間	令和7年5月15日～6月13日(30日間)
対 象	市内にお住まいの乳幼児から小学生までの子どもの保護者等
回答方法	せんだいオンライン申請サービスによるWEB回答
目的	本施設の基本計画の策定にあたっては、広く市民の皆様から意見をいただき、検討を進めることとしており、主たる利用者として想定される小学生以下の子どもの保護者等の皆様からご意見をうかがうもの。

● アンケート回答数 5,573件

仙台市内にお住まいの
こども（小学生以下）の
保護者の皆さんへ

西公園屋内遊び場についての
アンケートにご協力ください

仙台市では、西公園南側エリアを候補地とした
子どものための屋内遊び場の整備を進めていく
こととしています。
いただいたご意見は、今後、施設整備の検討を
進めるうえでの参考にさせていただきます。

■ 実施期間
6月13日（金）まで
■ Web回答はこちらから

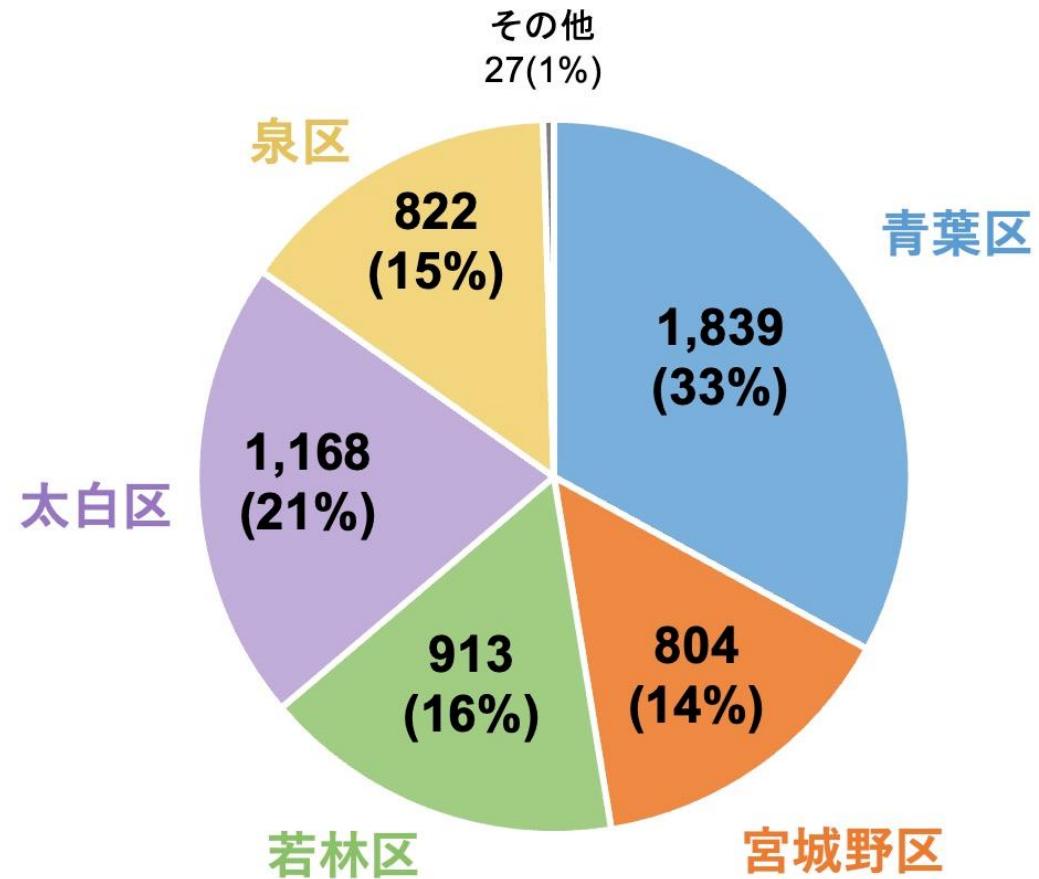
 

仙台市ホームページ
「西公園への屋内遊び場の整備について」はこちら→ 

お問い合わせ： 仙台市こども若者局子育て応援都市推進課
電話番号： 022-214-2129

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

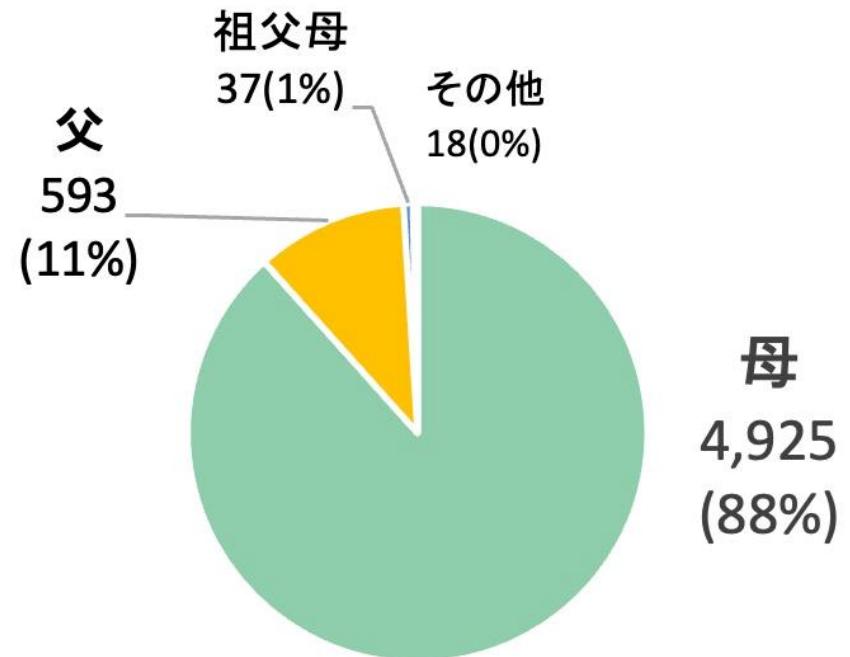
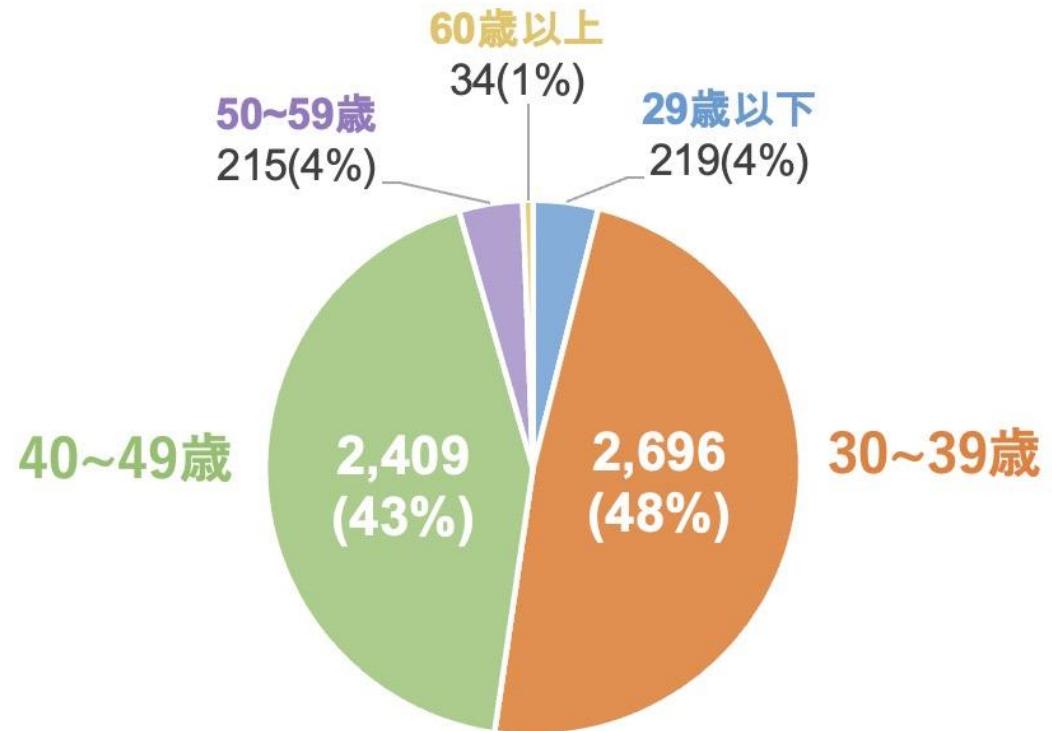
●回答者の居住地(Q1)



・青葉区が最も多い1,839件(33%)となったほか、市全域から幅広く回答が寄せられた。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

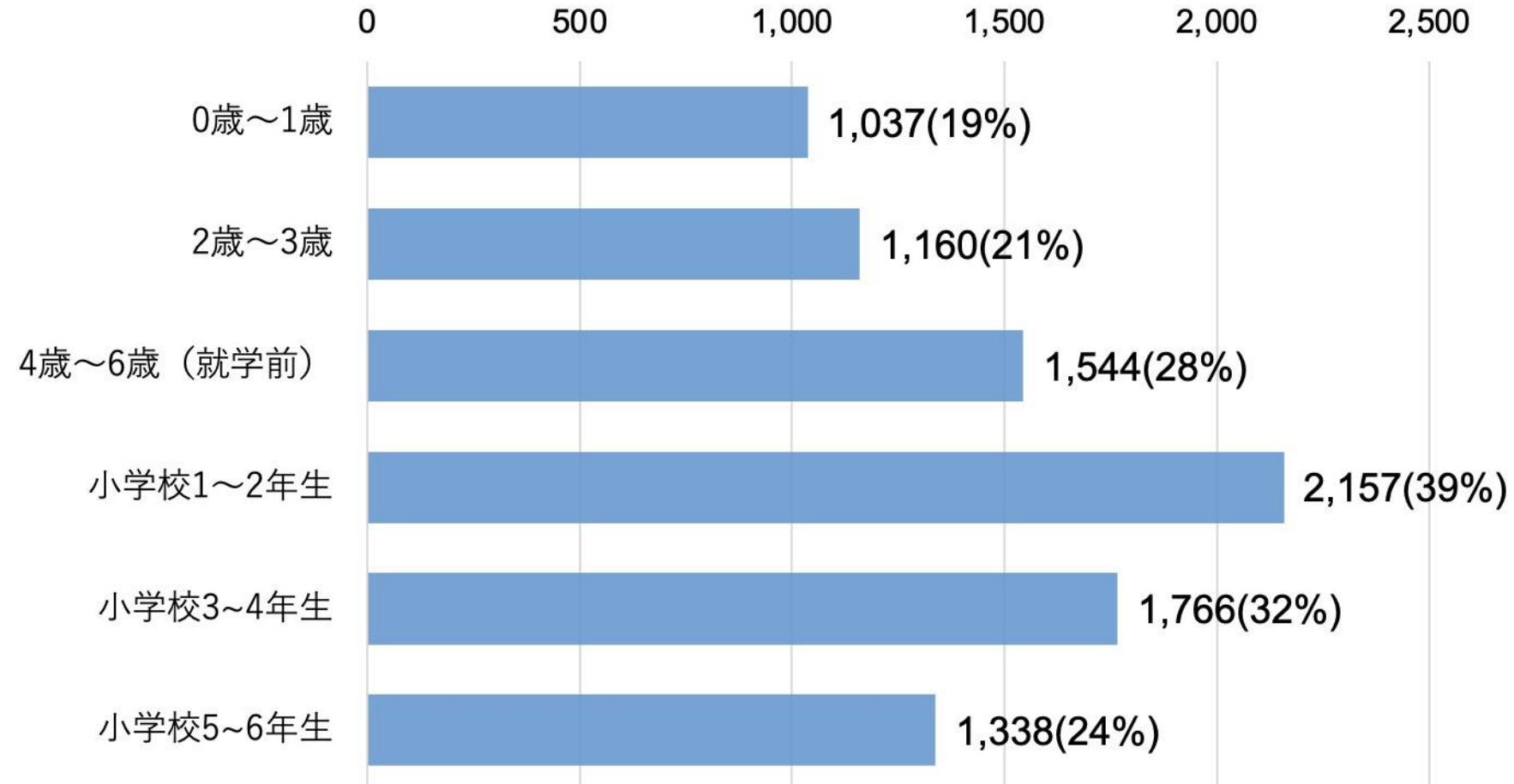
●回答者の年齢(Q2)・回答者と子どもの関係(Q3)



- ・30~39歳、40~49歳からの回答が全体の約9割を占める結果となった。
- ・母親からの回答が全体の88%を占めた。また父親からの回答も約600件集まった。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

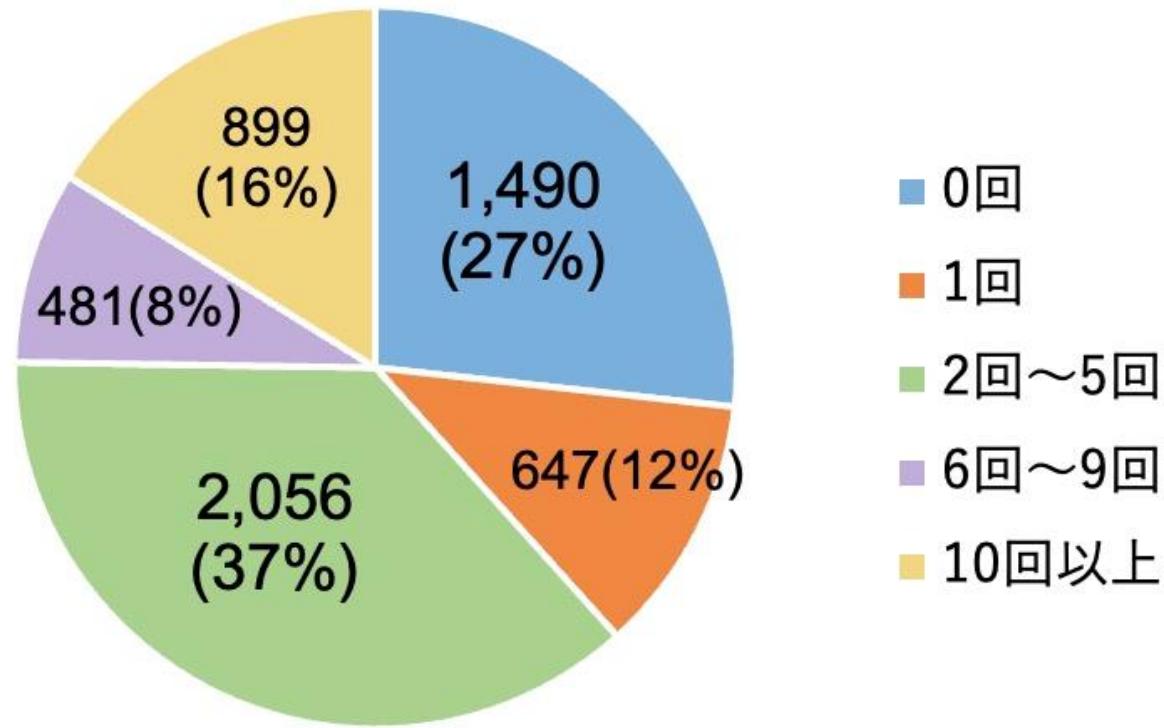
● 子どもの年齢 (Q4) ※複数回答可



・すべての年齢層で1,000件を超えるなど、幅広く回答が寄せられた。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

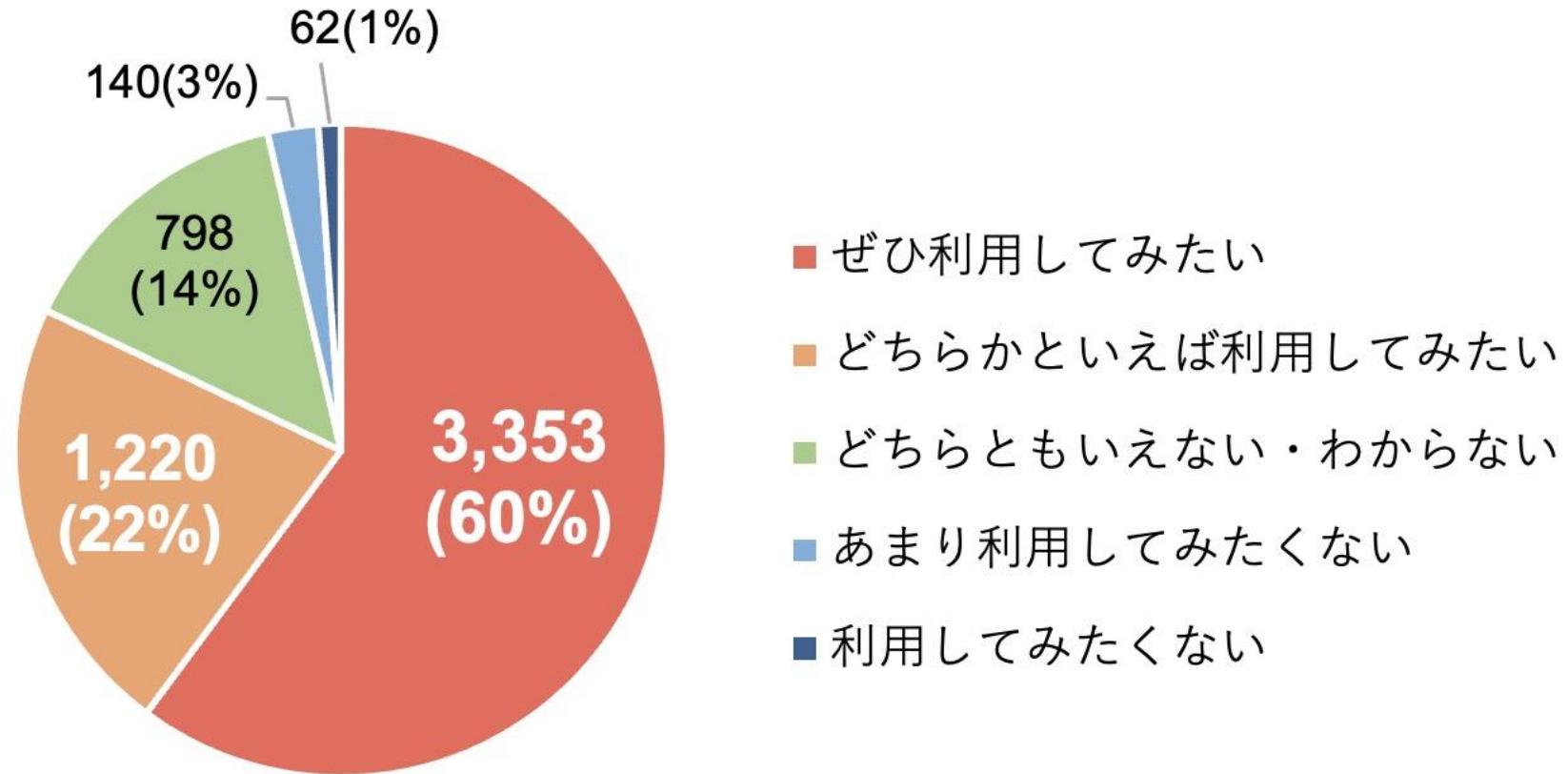
- 直近1年間での自治体が設置する屋内遊び場の利用状況 (Q5)



- ・2～5回が2,056件(37%)となり、最も多い回答となった。
- ・直近1年間での利用が0回という回答は1,490件(27%)と全体の約1/4を占めた。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

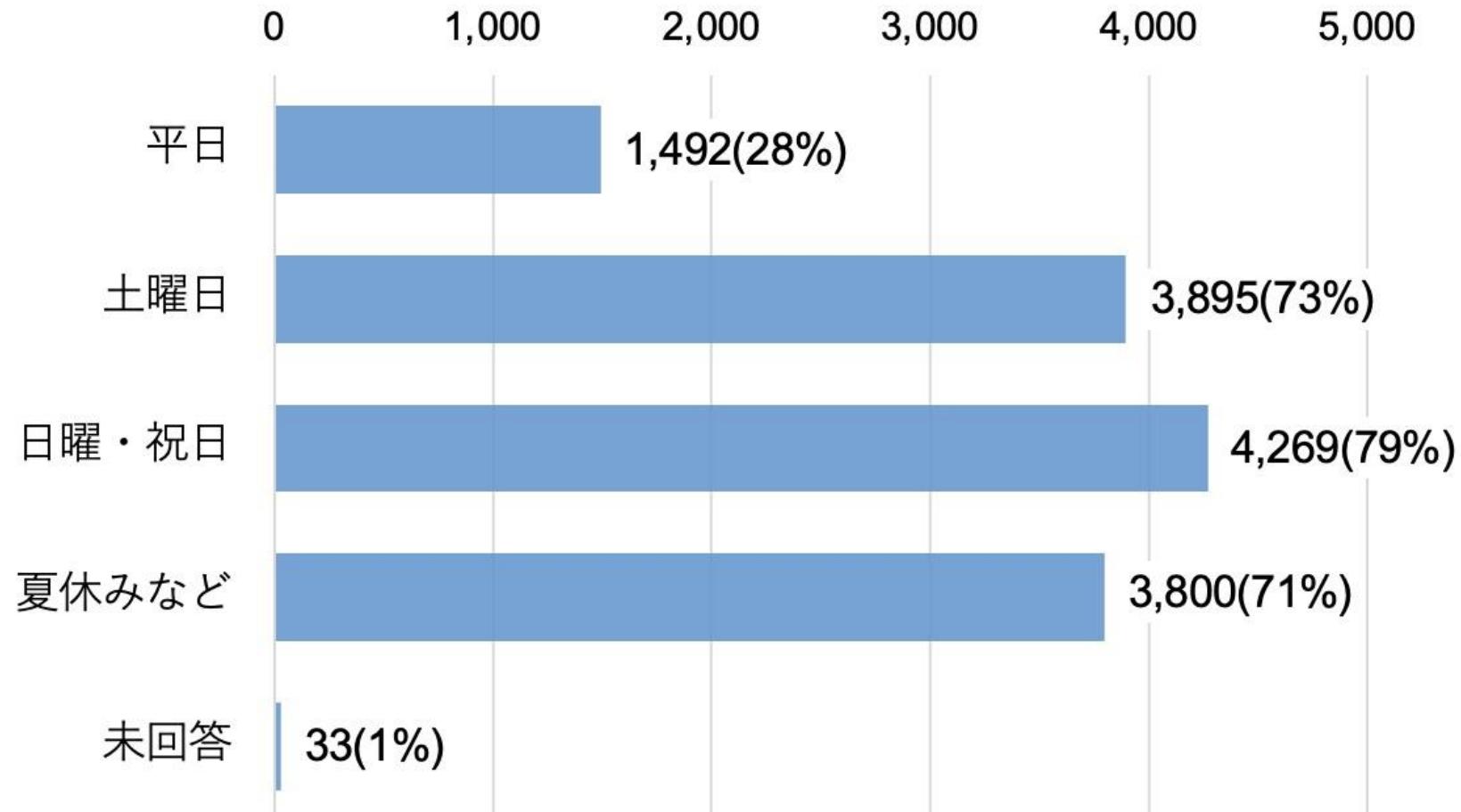
● 開館したら利用してみたいかについて (Q6)



・「ぜひ利用してみたい」「利用してみたい」という、利用への関心を示す回答が全体の8割以上を占めた。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

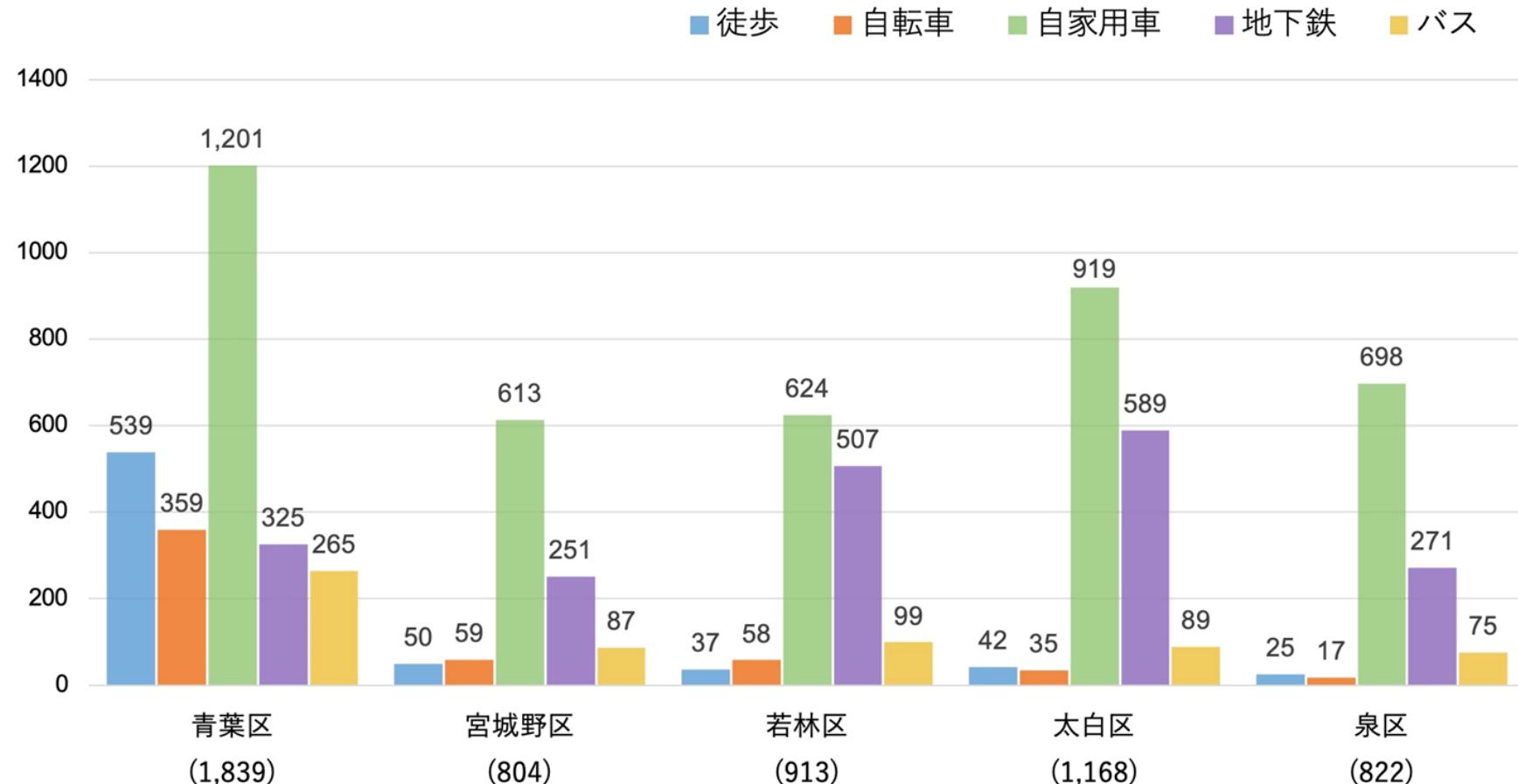
● いつ利用したいかについて (Q6-2) ※複数回答可



・子どもの休みに合わせた利用意向が多かった一方で、約1/4の方が平日の利用意向も示した。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

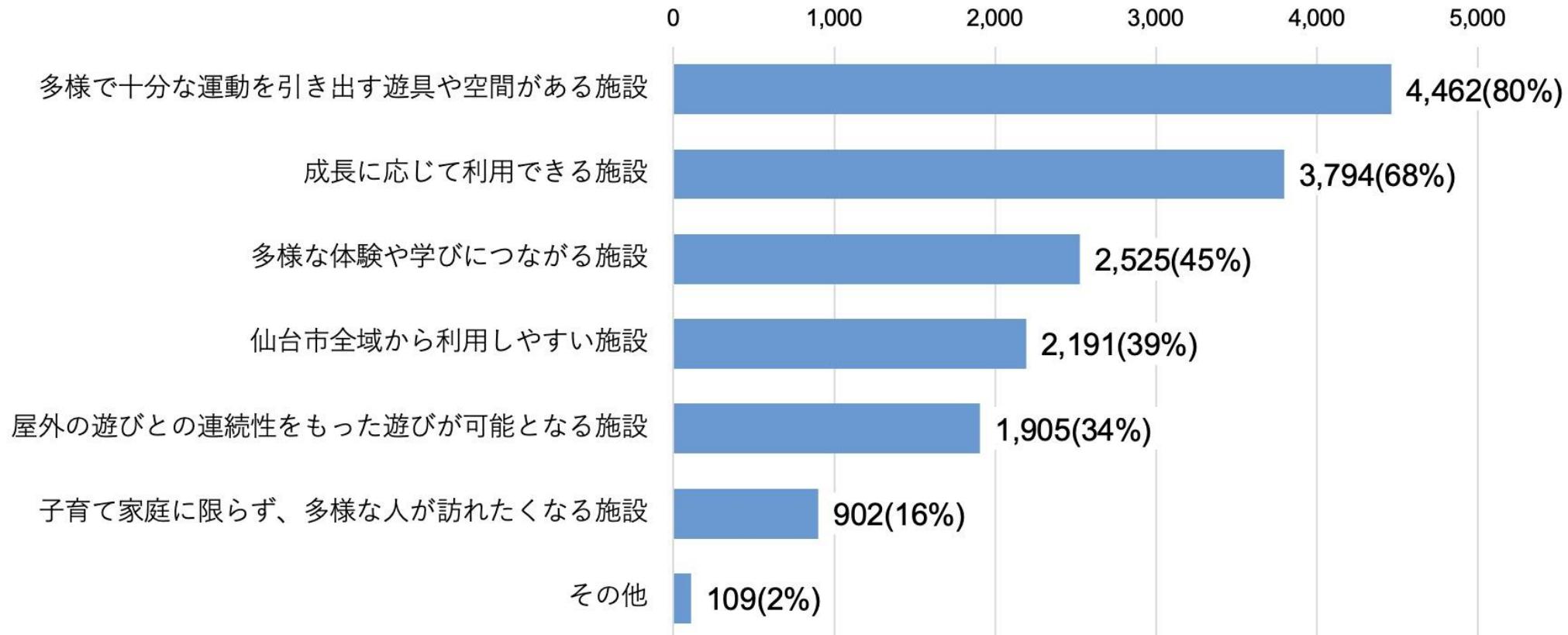
- 来館する際の主な移動手段 (Q6-3) ※複数回答可



- ・すべての区で自家用車が最も多い回答となった。
- ・青葉区で歩行・自転車、若林区で地下鉄など、区によっては、ほかの移動手段も比較的多く回答された。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

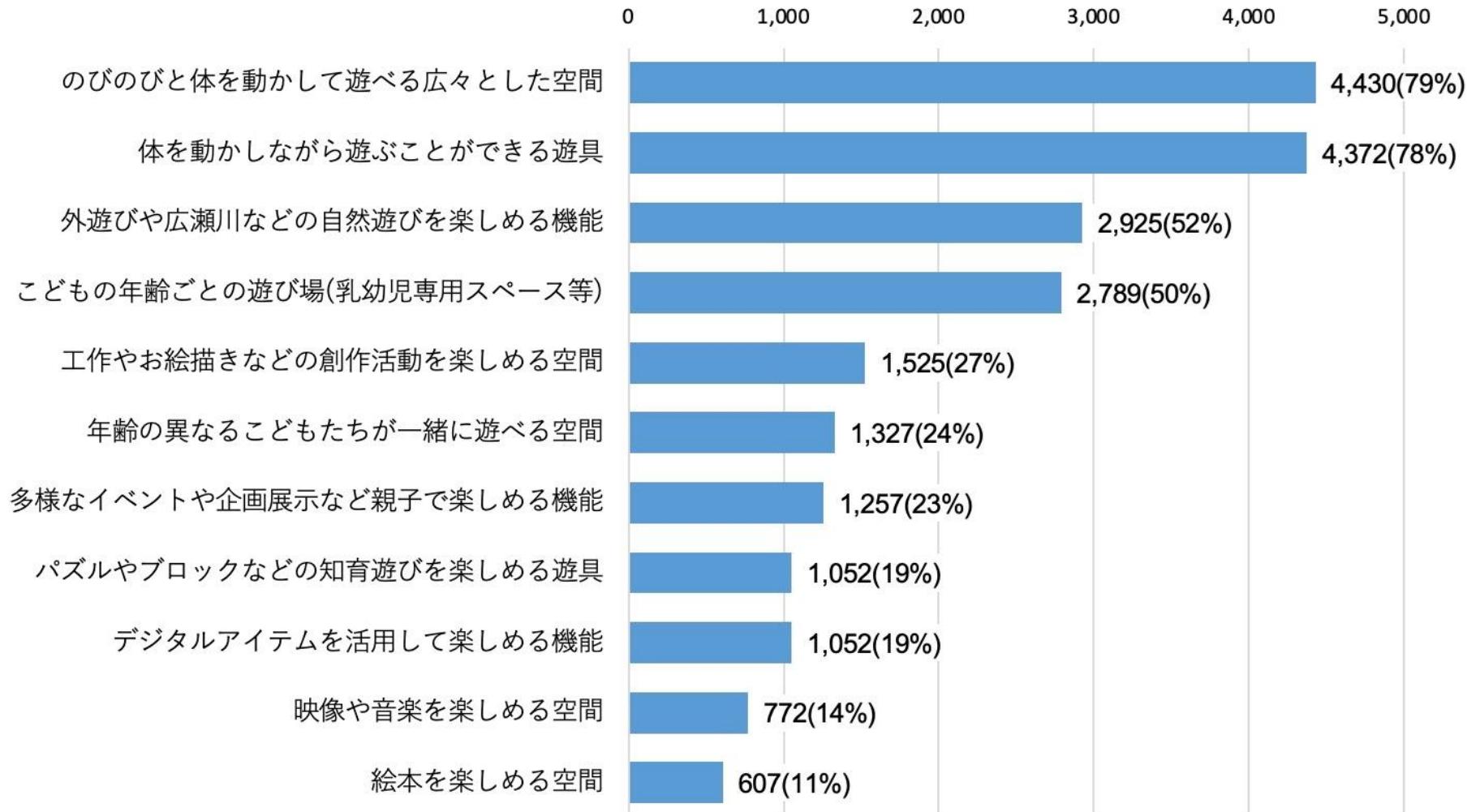
● 西公園の屋内遊び場に望ましい施設のコンセプトについて (Q7)



- ・「多様で十分な運動を引き出す遊具や空間がある施設」に多くの回答が集まっており、天気に関わらず、思い切り遊べるような屋内遊び場への期待の高さがうかがえる。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

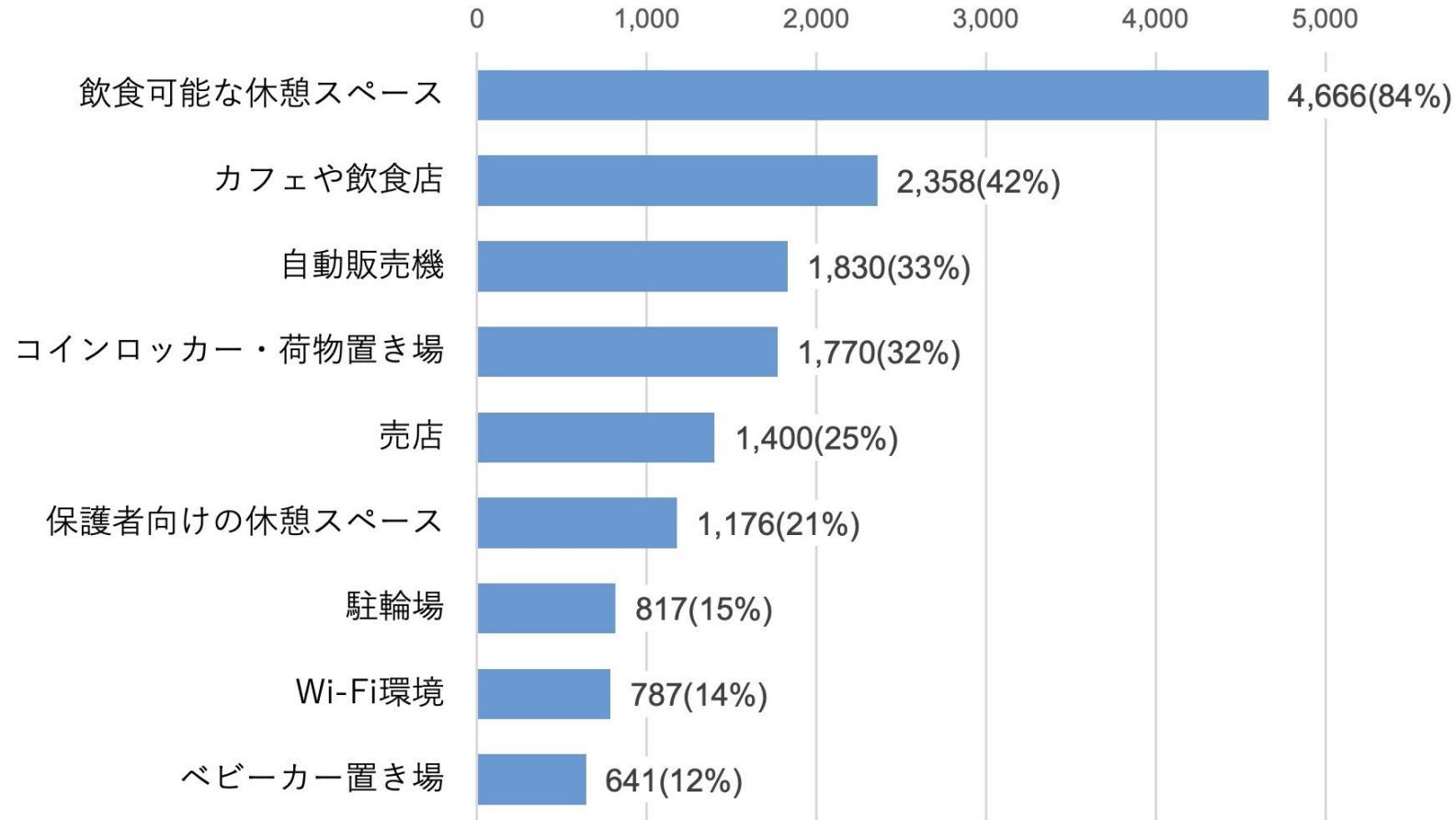
● 西公園の屋内遊び場に特に求める機能について (Q8)



・体を動かして遊べる空間や遊具のほか、自然遊びを楽しめる機能、子どもの年齢ごとの遊び場を求める回答が多くかった。42

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

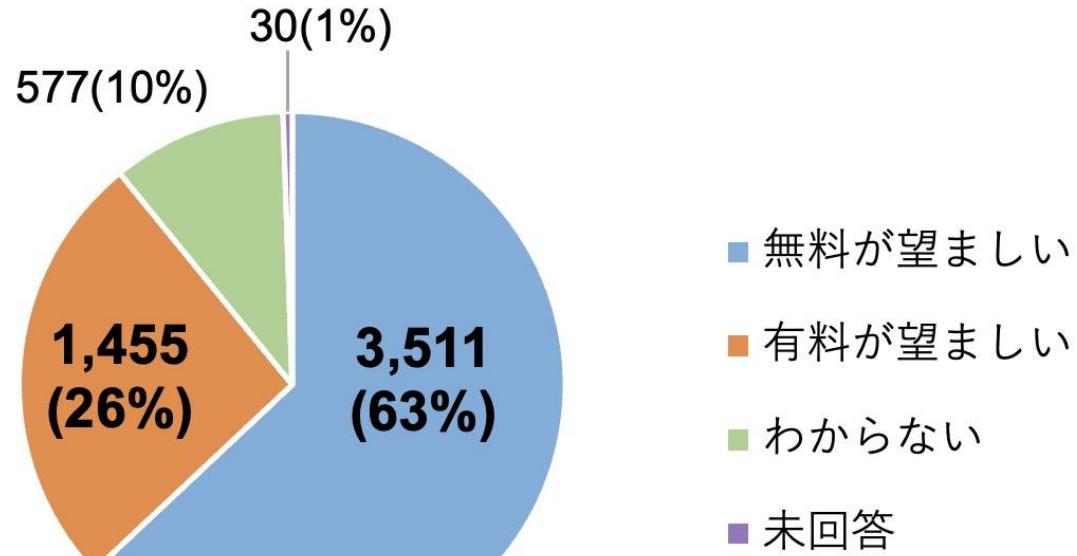
● 西公園の屋内遊び場に特に求める設備について (Q10)



・「飲食可能な休憩スペース」に回答が集中しており、子どもと一緒にお昼やおやつ休憩をする場所が求められている。

【参考資料】WEBアンケート結果(速報)

● 西公園の屋内遊び場の利用料金の考え方について (Q12)



- ・「無料が望ましい」の回答が63%で、理由に関する記述では、子育て支援や近隣自治体の施設との比較の観点等から無料を希望する意見が示された。
- ・「有料が望ましい」の回答は26%で、理由に関する記述では、混雑防止やマナー・モラルのほか、長期的な維持管理、コンテンツの充実などの観点等から有料を希望する意見が示された。
- ・大人は無料を求める意見や、仙台市民と市外の利用者で異なる価格設定を提案するような意見もあった。